

2014年ABAC第3回シアトル会議ニュースリリース【仮訳】

アジア太平洋のビジネス界のリーダー達は  
APECにアジア太平洋自由貿易圏の実現に向けた取組みの強化を求める

シアトル

2014年7月10日

アジア太平洋のビジネス・リーダーは、APECが2020年までに自由で開かれた市場を目指すボゴール目標の達成をコミットし続け、域内インフラ開発の加速、イノベーションの促進を進めて行かなければ、APECが共有しているこの地域の成長・繁栄という野望は実現しない、との懸念を表明してきた。

APEC ビジネス諮問委員会（ABAC）を構成するビジネス・リーダーは、今年11月北京でAPEC首脳へ提言を提示するための準備を完了させ、シアトルで本年第3回目の会議を終えた。

「APEC首脳が、アジア太平洋自由貿易圏（FTAAP）はボゴール目標達成のための最も効果的な手段である、との我々の提言を採択して7年が経過した」とABAC2014年議長のニン・ガオニンは述べた。「APECは、ロードマップ策定を手始めに、FTAAP達成の実現のために、より戦略的なリーダーシップを発揮する時期が来ている。我々はそのプロセスの一部を担い、ビジネス界からのインプットを行う準備はできている。」

ABACは、特にグローバル・バリュー・チェーンが最も有力なビジネスモデルであることを考えれば、地域をより効率的に連結する強固なインフラなしでは、FTAAPによる恩典を十分に享受することはできない、と確信している。民間セクターは、インフラ需要に対する投資不足を解消する力を有しているが、政府は政策環境の整備、官民パートナーシップ（PPP）の促進、あるいはまた長期の貯蓄を稼働せしめることによって、民間の投資を触発することができる。国際機関もまた重要な役割を有しており、こうした観点から、ABACはインフラ開発の為に、多国間の金融機能の充実を歓迎し支援する。

イノベーションに関してABACは、APECが2014年の主な優先事項の一つとして「革新的な開発、経済改革と成長の促進」、を掲げていることへの支持を表明した。「イノベーションは昨今の生産性上昇率の鈍化に対応し、中小・零細企業の市場機会へのアクセスや資金調達の新たな機会獲得などを容易にし、経済における女性の役割を向上させることなどを通じて包摂性を向上させるものである。」とニンは述べた。「ABACは更に、このアプローチによってAPECが、都市化や、食料安全保障、健康、グリーン成長といった課題に、より効果的に取り組むことができると確信している。」

ABACはさらに、地域経済統合や、インフラと連結性、中小・零細企業、持続可能な発展、及び金融に関する提言をも作成している。これら、そしてその他のABACの提言が、ABACの首脳への提言を構成し、APEC北京での首脳会談前に各首脳に手交される予定である。